

名岐道路の都市計画決定に関する
愛知県都市計画審議会環境影響評価調査専門部会(第5回)

- 1 とき 令和5年7月25日(火) 午後1時から午後2時30分まで
- 2 ところ 愛知県議会議事堂 4階 会議室5
- 3 内容

(1) 開 会

(2) 議題

- ①専門部会(第4回)以降の状況について(資料1)
- ②都市計画原案に関する公聴会の結果について(資料2)

○説明要旨(岩川主査)

専門部会(第4回)以降の状況及び公聴会の結果について説明

【質疑応答等要旨】

質問等要旨	回答要旨
(朴委員) 今までも住民から意見をいただく場が設けられていると思う。今回のような対面式での公聴会は何回目にあたるのか。	(青柳担当課長)(小島課長補佐) 公聴会の開催は1回です。また、これまでは、基本方針案、方法書の段階で説明会を開催しています。都市計画案作成段階でも市による説明会を開催しています。
(朴委員) 手続において双方向のコミュニケーションを図ることがとても重要。何かコミュニケーションを図るツールは用意されているのか。	(青柳担当課長)(小島課長補佐) 専門部会や説明会に関する資料は随時、県のホームページで公表しております。また、今後の手続においては、縦覧と意見書の受付、説明会を予定しており、住民の方に説明・意見をいただく場を設けています。引き続き、住民の方々に丁寧に説明し、ご意見をいただきながら進めていきます。
(梶田委員) 今後の具体的な手続のスケジュールを教えてください。	(青柳担当課長) 今後の詳しい日程については、現時点ではお示しできませんが、準備書意見等に対する見解を作成する際には、専門部会を開催して、手続を進めてまいります。
(朴委員) 時代のニーズに合った戦略的な事業評価ということも考えられる。現在の費用便益分析だけではない付加価値を考慮していくことも重要。	(青柳担当課長) 一般に道路事業を行う際には、国の費用便益分析マニュアルに基づき費用便益比を算出しています。
(梶田委員) 「現在国道22号を走行している通過交通と地域交通を分離させ、交通混雑緩和を図ること」及び「平面街路について	(青柳担当課長) 本事業により高架道路を整備することで、名岐道路を走行する通過交通と国道22号を走行する地域交通に分

<p>名岐道路から円滑に流出入できるような計画」について、現時点での具体の計画があれば教えていただきたい。</p> <p>(岡田委員) 意見であるが、高架道路なので平面図だけでなく、高架構造の高さなどを一般の住民のみならず、不動産関係や民間企業などの方々にも周知した上でまちづくり、都市整備を行っていただきたい。</p>	<p>離され、国道22号の混雑が緩和されるものと考えています。 平面街路については、北尾張中央道などの国道22号と交差する道路について、名岐道路と併せて都市計画の変更を行います。国道22号と交わる交差点において車の流れが良くなる形状に変更する計画です。</p>
--	--

③環境影響評価準備書(案)について(資料3)

○説明要旨(小島課長補佐)

環境影響評価準備書(案)について説明

【質疑応答等要旨】

質問等要旨	回答要旨
<p>(岡田委員) 準備書P11-2-74,75の表11-2-48における名岐道路の寄与分の騒音レベルについて、名岐道路本線に環境保全措置を実施しないにもかかわらず、環境保全措置前後で変化するのはなぜか。</p> <p>(朴委員) 建設発生土やコンクリート塊、アスファルト塊は産廃処理になると考えているが、名岐道路の事業以外にも流用されるのか。</p> <p>(朴委員) 温室効果ガスの発生量は、どのような工事の内訳か。また、アイドリングストップやエコドライブも考慮した結果が今回、算出した発生量か。</p> <p>(芹沢委員) 自然環境や景観に関する予測や評価は、この内容で問題ないとする。</p>	<p>(青柳担当課長) 確認します。 <確認結果を後日委員に送付> ○名岐道路のランプ部への環境保全措置(遮音壁)の影響も名岐道路の寄与分の騒音レベルに加味しているため変化が生じています。</p> <p>(青柳担当課長) 建設発生土に関しては、公共工事間での流用に努めます。コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊は、一般的な公共工事での処理と同様に再資源化施設に運び込み、他工事で再利用する方針です。</p> <p>(青柳担当課長) 標準的な建設機械の稼働、工事用車両の運行により算出しており、準備書P11-14-4の表11-14-3に工種の内訳を記載しています。アイドリングストップ等を考慮した排出量は、算出できるものではないため、事業実施段階で環境保全措置が実行されるよう事業者伝えてまいります。</p>

④今後の手続について(資料4)

○説明要旨(小島課長補佐)

今後の手続について説明

【質疑応答等要旨】

質疑応答なし

(部会資料)

・資料1

専門部会(第4回)以降の状況

・資料2

都市計画原案に関する公聴会の結果について

・資料3

環境影響評価準備書(案)について

・資料4

今後の手続について

・参考資料

環境影響評価準備書(案)

(出席者)

委 員		
部会長	秀島 栄三	土 木 計 画
委 員	梶田 悦子	環 境 ・ 衛 生
委 員	岡田 恭明	騒 音 ・ 振 動
委 員	芹沢 俊介	自 然 環 境
委 員	朴 恵淑	大 気 質
※岡本委員及び井料委員 欠席		

県		
都市基盤部	部長	加藤俊彦
都市計画課	課長	伊藤慎悟
〃	担当課長	青柳克彦
〃	課長補佐	小島 健
〃	主査	岩川慎悟